米工 MAKERS

米工通信　第１８７号
令和５年２月２８日
鳥取県立米子工業高等学校

いよいよ卒業式ですね。入学したときは長い３年間が始まると思っていたことでしょうが、過ぎてみるとあっという間の３年間だったと思います。

新生活の準備を始めよう

私が高校を卒業したときのことを振り返ってみると、大学の２次試験に出かけ、試験の後はそのままクラスの友人と国際科学技術博覧会（科学万博－つくば'85）へ行ったことを思い出しました。

さて、卒業生のみなさんはこの自由な期間をどのように過ごしますか？

県外の企業や大学へ進む人は、新しい生活の準備で慌ただしく過ぎていくかもしれませんね。自宅から通勤、通学する人は本当にゆっくり過ごすことができる期間かもしれません。しかし、３年でさえあっという間に過ぎてしまったのですから、１月なんて瞬く間に過ぎていきます。

卒業おめでとうございます

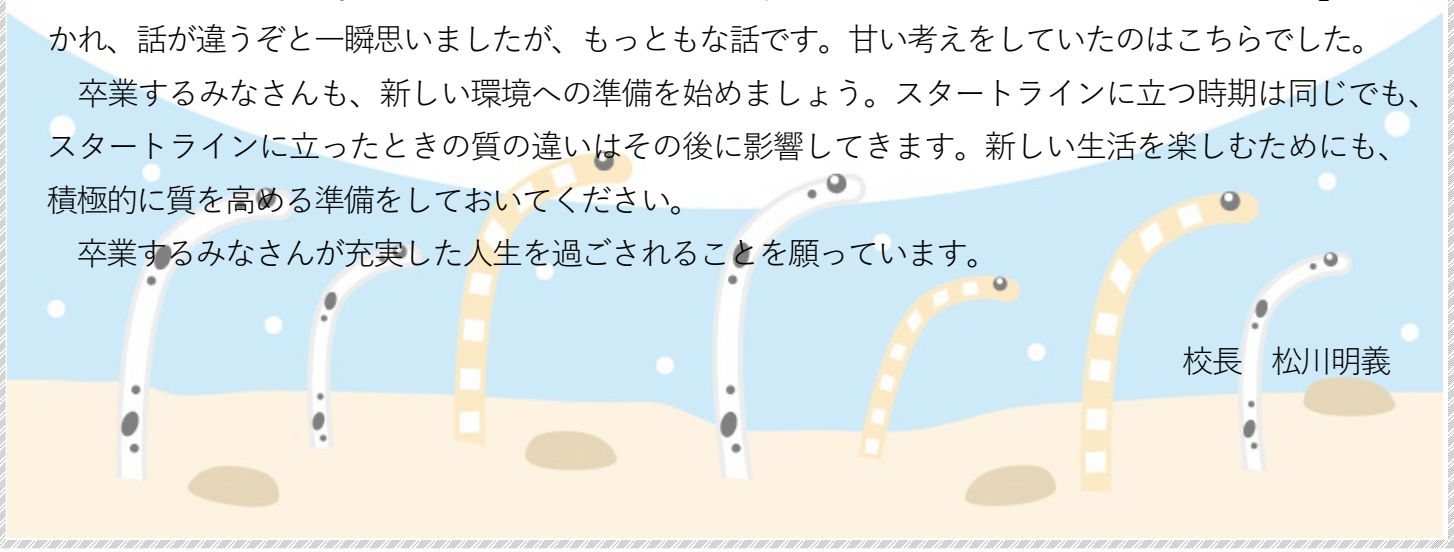
みなさんは、先輩や企業の方からお話を伺える機会に、「学生時代はしっかり遊んでおいて」とアドバイスを受けることがありませんか。先輩方の経験からのアドバイスだと思いますが、自分に都合の良いように「遊んでおけば良いんだ」と解釈するのは危険です。それでは進級もできなくなってしまいます。

先輩方が伝えたいのは、「勉強もがんばろう。それだけではなく、遊びも全力で頑張ろう！」ということではないでしょうか。遊びは自らやりたいことをやるのですから、自分で工夫して楽しみ、時間を忘れて没頭します。そこから得られるものに人生で役立つものがあることを伝えてくれているのだと思います。

私の経験談ですが、転職を考えている時期がありました。先方からは、「こちらのことはこちらに来てからでいいので、今は今のことをやれば良い」とアドバイスをいただいていました。それから幾日も経ったある時、「こちらに来てからの準備はしている？」と聞かれ、話が違うぞと一瞬思いましたが、もっともな話です。甘い考えをしていたのはこちらでした。

卒業するみなさんも、新しい環境への準備を始めましょう。スタートラインに立つ時期は同じでも、スタートラインに立ったときの質の違いはその後に影響してきます。新しい生活を楽しむためにも、積極的に質を高める準備をしておいてください。

卒業するみなさんが充実した人生を過ごされることを願っています。



校長　松川明義